

疫学・健康政策学講座

Epidemiology and Health Policy

教授	関根 道和	Michikazu Sekine
助教	立瀬 剛志	Takashi Tatsuse
助教	山田 正明	Masaaki Yamada

◆ 原著

- 1) Lahelma E, Pietiläinen O, Rahkonen O, Kivimäki M, Martikainen P, Ferrie J, Marmot M, Shipley M, Sekine M, Tatsuse T, Lallukka T. Social class inequalities in health among occupational cohorts from Finland, Britain and Japan: a follow up study. *Health Place*. 2015 Jan; 31: 173-9.
- 2) Liu J, Sekine M, Tatsuse T, Fujimura Y, Hamanishi S, Zheng X. Association among number, order and type of siblings and adolescent mental health at age 12. *Pediatr Int*. 2015 Oct; 57(5): 849-55.
- 3) Liu J, Sekine M, Tatsuse T, Fujimura Y, Hamanishi S, Lu F, Zheng X. Outdoor physical activity and its relation with self-reported health in Japanese children: results from the Toyama birth cohort study. *Child Care Health Dev*. 2015 Nov; 41(6): 920-7.
- 4) 永田勝太郎, 近藤麻乃, 藤森純子, 立瀬剛志. 新しいストレスバイオマーカーとしての d-ROMs test、BAP test、修正 BAP/d-ROMs 値 (酸化バランス防御系). *ストレス科学*. 2014 Dec ; 29(3) : 281-92. (2014 年未掲載分)

◆ 総説

- 1) 関根道和. 社会経済的要因による睡眠格差 日本・英国・フィンランド公務員研究の国際比較. *日本社会精神医学会雑誌*. 2015 Nov ; 24(4) : 383-94.

◆ 学会報告

- 1) Fujimura Y, Sekine M, Tatsuse T, Yamada M. Associations of children's growth and lifestyle factors with early maturation: a birth cohort study in Japan. *The 11th International Health Economics Association World Congress*; 2015 Jul 12-15; Milan.
- 2) Sekine M, Yamada M, Tatsuse T. Associations of bedtime and rising time with poor sleep quality of Japanese civil servants. *The 3rd ASEAN Sleep Congress 2015*; 2015 Nov 20-22; Singapore.
- 3) Yamada M, Sekine M, Tatsuse T. Lifestyle and bowel movements in elementary school children: the Toyama Birth Cohort Study. *Asia Pacific Digestive Week*; 2015 Dec 3-6; Taipei.
- 4) 中堀伸枝, 山田正明, 立瀬剛志, 関根道和. 食育に対する保護者の意識と子の生活習慣や健康との関連—文部科学省スーパー食育スクール事業—. 第 49 回富山県公衆衛生学会 ; 2015 Feb 10 ; 富山.
- 5) 山田正明, 中堀伸枝, 立瀬剛志, 関根道和. 児童の食生活と変化と親の就業状況との関連—文部科学省スーパー食育スクール事業—. 第 49 回富山県公衆衛生学会 ; 2015 Feb 10 ; 富山.
- 6) 立瀬剛志, 藤森純子, 本田 徹, 永田勝太郎, 新鞍真理子, 鏡森定信, 関根道和, 長岡丈道. 退職期男性の支援ニーズと課題—「ケアウィル」プログラム参加者にみる実存的不安—. 第 49 回富山県公衆衛生学会大会 ; 2015 Feb 10 ; 富山.
- 7) 小出明子, 河村良彦, 佐野正之, 山田正明, 関根道和. 中学・高校生の歯肉炎に関する疫学的研究—歯肉炎と口腔衛生習慣との関連—. 第 49 回富山県公衆衛生学会 ; 2015 Feb 10 ; 富山.
- 8) 立瀬剛志, 藤森純子, 本田 徹, 永田勝太郎. 退職期の実存的課題を支援する地域教育プログラムの開発—「ケアウィル」実践研究報告—. 第 34 回日本社会精神医学会 ; 2015 Mar 5-6 ; 富山.
- 9) 須永恭子, 立瀬剛志, 鈴木道雄, 小林俊哉, 塩谷 亨, 瀧波賢治. 地域における自殺対策ネットワーク創生に向けたゲートキーパー育成支援事業. 第 34 回日本社会精神医学会 ; 2015 Mar 5-6 ; 富山.
- 10) 山田正明, 山田一樹, 南部修一, 尾島俊彦, 根塚英昭, 斎藤光和, 三原 弘, 藤浪 斗, 西川 潤, 杉山敏郎. 成人発症のアレルギー性紫斑病に伴う結腸—結腸型腸重積に対し、下部消化管内視鏡による送気にて整復しえた一例. 第 89 回日本消化器内視鏡学会総会 ; 2015 May 29-31 ; 名古屋.
- 11) 立瀬剛志, 須永恭子, 藤森純子, 小林俊哉, 山田広明. 異分野連携に基づく地域健康政策での健康影響評価の効果と課題—富山県「ふなはしむら健康構想」ワークショップより—. 第 56 回日本社会医学会総会 ; 2015 Jul 25-26 ; 久

留米.

- 12) 藤森純子, 立瀬剛志, 中森義輝, 永田勝太郎, 本田 徹, 鏡森定信. 退職後の暮らしを支える知識創造の場設定の課題—ケアウィル実践研究より—. 第 56 回日本社会医学会総会; 2015 Jul 25-26; 久留米.
- 13) 小林俊哉, 立瀬剛志, 須永恭子, 塩谷 亨. 富山県内における地域近接型ゲートキーパー養成事業の課題と展望. 第 56 回日本社会医学会総会; 2015 Jul 25-26; 久留米.
- 14) 須永恭子, 立瀬剛志, 藤森純子, 小林俊哉, 山田広明. 住みたくなる地域づくり戦略の検討—過疎地域の健康と互助からの考察—. 第 56 回日本社会医学会総会; 2015 Jul 25-26; 久留米.
- 15) 穂本昌寛, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 登校回避感情の関連因子について—文部科学省スーパー食育事業の結果から—. 第 54 回富山県小児保健学会; 2015 Oct 4; 富山.
- 16) 中堀伸枝, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 子どもの食行動・生活習慣・健康と家庭環境との関連—文部科学省スーパー食育スクール事業の結果から—. 第 72 回北陸学校保健学会; 2015 Oct 31; 金沢.
- 17) 立瀬剛志, 関根道和, 山田正明, 藤村裕子, 濱西島子. 職場信頼の関連因子の検討—具体的環境改善策に向けた検討—. 第 74 回日本公衆衛生学会総会; 2015 Nov 4-6; 長崎.
- 18) 藤村裕子, 関根道和, 立瀬剛志, 山田正明. 男児及び女児の体格の推移と第二次性徴開始学年による比較. 第 74 回日本公衆衛生学会; 2015 Nov 4-6; 長崎.
- 19) 新村哲夫, 松永憲治, 清水教子, 清水忠道, 立瀬剛志, 山田正明, 関根道和. 海洋深層水および由来水の足浴効果の検討. 第 19 回海洋深層水利用学会全国大会「海洋深層水 2015 久米島大会」; 2015 Nov 12-13; 久米島.

◆ その他

- 1) 関根道和. 総合力で国難に挑む—疫学健康政策学講座教授就任にあたって. Toyama Med J. 2015 Mar; 25(1): 32-42. (講演録)
- 2) 関根道和. 子どものときの食習慣が健康をつくる 野菜不足は生活習慣病の誘因. 食べもの通信. 2015 May; No. 531: 8-9.
- 3) 立瀬剛志. キャリア教育における自己効力感. キャリア教育全体研修会 富山県立雄峰高等学校; 2015 Feb 19; 富山. (講演)
- 4) 関根道和. 労働者の睡眠疫学と政策への示唆—日本・英国・フィンランド公務員研究の結果から—. 日本総合健診医学会第 43 回大会日本医師会認定産業医研修会; 2015 Feb 20; 富山. (招待講演)
- 5) 関根道和. 社会経済的要因による睡眠格差—日本・英国・フィンランド公務員研究の国際比較. 第 34 回社会精神医学会教育講演; 2015 Mar 5; 富山. (招待講演)
- 6) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2015 Apr 15; 富山. (講演)
- 7) 立瀬剛志. 退職後の健康と豊かな暮らし. 永年勤続者を送る集い富山県地方共済組合; 2015 Mar 31; 富山. (講演)
- 8) 関根道和. 全国 80 医学の教育アウトカムの決定要因—教育、研究、大学運営、社会貢献の最適化を目指して—. キックオフシンポジウム: 医薬学と数理学の融合を目指して; 2015 May 18; 富山. (講演)
- 9) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2015 Apr 15; 富山. (講演)
- 10) 立瀬剛志. ケアを考える. 心とからだの回復実践 NPO 法人みどりの風市民講座; 2015 Jun 21; 富山. (講演)
- 11) 立瀬剛志. 見直そう! 睡眠の力. 青少年健康づくり支援事業富山県中部厚生センター; 2015 Jun 26; 上市. (講演)
- 12) 関根道和. 睡眠と生活習慣病—寝ないと太る—. キメラ会学術研修会; 2015 Jun 28; 富山. (講演)
- 13) 立瀬剛志. 健康で生きがいのある暮らし. 富山支部地区委員研修会富山県年金受給者協会; 2015 Jul 1; 富山. (講演)
- 14) 山田正明. 生活習慣と睡眠の大切さ. 砺波東部小学校—富山県砺波厚生センターヤングヘルスセミナー事業; 2015 Jul 8; 砺波. (講演)
- 15) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2015 Jul 22; 富山. (講演)
- 16) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会; 2015 Aug 19; 富山. (講演)
- 17) 山田正明, 長谷川雄一. 一般診療で使える消化管エコーセミナー. とやま総合診療イノベーションセンターエコーセミナー; 2015 Sep 4; 富山. (講演)
- 18) 山田正明, 長谷川雄一. 消化管エコー・ハンズオンセミナー. とやま総合診療イノベーションセンターハンズオンセミナー; 2015 Sep 5; 富山. (総合司会)
- 19) 立瀬剛志. 住民信頼の向上と豊かな地域生活に向けたエイジレス推進事業. 舟橋村エイジレス事業企画部会 (中間報告会); 2015 Sep 11; 舟橋. (講演)
- 20) 立瀬剛志. こころが通う対話の話. 市民講座北陸内観懇話会; 2015 Sep 27; 富山. (講演)

- 21) 立瀬剛志. レジリエント教育ーキャリアワークを考えるー. キャリア教育全体研修会富山県立雄峰高等学校 ; 2015 Sep 30 ; 富山. (講演)
- 22) 山田正明. 生活習慣と睡眠の大切さ. 砺波北部小学校ー富山県砺波厚生センターヤングヘルスセミナー事業 ; 2015 Sep 30 ; 砺波. (講演)
- 23) 関根道和. 格差社会と子供の生活習慣・教育機会・健康ー社会経済格差と地域格差ー. 平成 27 年度愛知県学校保健会県立学校部養護教諭会第 2 回研究会 ; 2015 Oct 9 ; 名古屋. (講演)
- 24) 立瀬剛志. 自殺のリスクと日常の支援. ゲートキーパー講習会(砺波地区教頭研修会) 県立砺波高校 ; 2015 Oct 19 ; 砺波. (講演)
- 25) 山田正明. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習. 富山市労働基準協会 ; 2015 Oct 19 ; 富山. (講演)
- 26) 立瀬剛志. 自分らしい生き方や生きがいを考えるー向老期の豊かさと「ケアウィル」. 暮らしの実学講座富山市民大学 ; 2015 Nov 11 ; 富山. (講演)
- 27) 山田正明. 生活習慣と睡眠の大切さ. 入善町立上青小学校ー青少年健康づくり支援事業 ; 2015 Nov 19 ; 入善. (講演)
- 28) 立瀬剛志. 健康なコミュニティを考える. ゲートキーパー応用講習会富山地域ストレス研究会 ; 2015 Nov 23 ; 富山. (講演)
- 29) 関根道和. 生活習慣病予防～男性の約 6 人に 1 人が糖尿病 睡眠からみた生活習慣病予防について. 平成 27 年度藤沢市生涯学習大学生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」市民講師企画講座第 6 弾高齢期における「あたま」と「からだ」の健康づくり ; 2015 Dec 2 ; 藤沢. (講演)
- 30) 関根道和. 認知症予防～高齢者の約 6 人に 1 人が認知症 認知症の症状、治療、予防について. 平成 27 年度藤沢市生涯学習大学生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」市民講師企画講座第 6 弾高齢期における「あたま」と「からだ」の健康づくり ; 2015 Dec 9 ; 藤沢. (講演)
- 31) 関根道和. 地域包括ケアシステム推進に向けた将来予測・地域診断・人材育成：地域医療・保健支援部門の取り組み. 富山大学 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) キックオフシンポジウム ; 2015 Dec 4 ; 富山. (講演)
- 32) 関根道和. 医師のキャリアを考える～医学教育とその後の人生～. 職業理解講座「エキスパートに学ぶ」富山県立砺波高等学校 ; 2015 Dec 10 ; 富山. (講演)
- 33) 立瀬剛志, 藤森純子. 退職期ケアウィルと地域健康. 富山テレビ特別報道番組 R65 ; 2015 May 17. (出演)
- 34) 村口 篤, 廣川慎一郎, 関根道和. 第 1 章 使命と教育効果. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 2-46.
- 35) 一條裕之, 廣川慎一郎, 関根道和, 山崎先也, 山城清二. 第 2 章 教育プログラム. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 48-107.
- 36) 北島 勲, 廣川慎一郎, 関根道和. 第 3 章 学生評価. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 108-33.
- 37) 北島 勲, 廣川慎一郎, 関根道和. 第 4 章 学生. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 134-64.
- 38) 関根道和. 第 5 章 教員. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 166-81.
- 39) 石木 学, 関根道和, 山城清二. 第 6 章 教育資源. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 182-222.
- 40) 白木公康, 廣川慎一郎, 関根道和. 第 7 章 プログラム評価. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 224-56.
- 41) 関根道和. 第 8 章 総括及び管理運営. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 258-80.
- 42) 白木公康, 関根道和, 石木 学, 村口 篤. 第 9 章 継続的改良. 医学教育分野別評価基準日本版 (v1.30) に基づく富山大学医学部医学科自己点検評価書平成 27 年度. 2015 Jul : 282-304.
- 43) 関根道和. 全国が注目！“子どもの肥満対策”. NHK ニュースおはよう日本. 2015 Apr 9. (情報提供)
- 44) 関根道和. NHK NEWS WEB「深刻な子どもの肥満 その対策は」. (情報提供)
- 45) 関根道和, 山田正明. 食生活の意識改善ー高岡・二塚小で成果報告. 北日本新聞(朝刊). 2015 Feb 2 : 30.
- 46) 関根道和. 20 年後 認知症県民 1 割ー富山大医学部教授が推計 保健医療のあり方検討をー. 読売新聞(朝刊). 2015

Dec 10 : 28.

- 47) 関根道和. 社会人の講義 進路の参考に. 富山新聞 (朝刊). 2015 Dec 11 : 26.
- 48) 関根道和, 山田正明. 食生活の意識改善—高岡・二塚小で成果報告. ほっとホットメール高岡 (第 321 号). 2015 Feb 20.
- 49) 関根道和, 山田正明. 平成 26 年度文部科学省スーパー食育スクール事業・生活習慣と健康に関するアンケート調査報告書. 富山大学大学院医学薬学研究部疫学健康政策学講座. 2015 May.
- 50) 関根道和. 平成 23 年度富山大学医学部看護学科入学生の試験成績に関する IR 報告. 2015 Oct 11.
- 51) 関根道和. 教員業績評価システムによる高得点教員 (年俸制における業績給の昇給可能性が高い教員) に関する IR 報告. 2015 Oct 11.
- 52) 関根道和. 親子保健・学校保健分野活動報告. 公衆衛生モニタリングレポート委員会活動報告会. 第 74 回日本公衆衛生学会総会 ; 2015 Nov 11 ; 長崎.
- 53) 関根道和. 講座紹介 : 疫学健康政策学講座. 富山大学医学部後援会報. 2015 Oct ; 48 : 12.
- 54) 関根道和. 編集後記. 日本公衆衛生雑誌. 2015 Oct ; 62(10) : 643.